

## 【企業情報】

本社所在地 東京都千代田区  
事業内容 菓子・食品の製造・販売  
従業員数 連結4,053名  
(2020年3月31日現在)

掘りだそう、自然の力。

**Calbee**

Calbee New Workstyle □□



現在の本社オフィスの様子



## 【背景・目的】

同社では、オフィス勤務者約800名を適用対象に、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたニューノーマルの働き方「Calbee New Workstyle」を、2020年7月1日から開始させた。背景として、同社は2014年に在宅勤務制度を開始、当時は働く場所を自宅に限定、利用回数の上限等の条件があった。2017年にそれらの条件を撤廃した「モバイルワーク制度」を導入し、現在は同制度を基本とした働き方を無期限延長としている。これにより、感染症の拡大防止はもとより、更なる生産性の向上、効率的な働き方、ライフワークバランスの推進を目指す。

## 【Calbee New Workstyle 3つの柱】

### (1) モバイルワークの標準化とフルフレックス導入

オフィス勤務者はモバイルワークを原則とし、創造性・効率性の向上、直接の意思疎通が必要な場合に出社とする。加えて、フレックス勤務のコアタイムを廃止し、より柔軟な働き方を推進する。結果として、30%前後の出社率を目指す。

### (2) 単身赴任の解除

モバイルワークとすることで業務支障がない旨を所属部門が認めた場合、単身赴任を解除する。

### (3) 通勤定期券代の支給停止とモバイルワーク手当の支給

通勤定期券代を支給停止とするかわりに、オフィスへの出社日数に応じて交通費を通勤手当として実費支給する。また、「モバイルワーク手当」（一時金）を新設し、モバイルワークの環境整備に必要な費用を一部補助する。

## 【運用環境・運用状況】

モバイルワーク勤務者は全員、会社から貸与されているPC・スマートフォン等のデバイスにより業務を行う。また、上述の800名のみならず、生産事業所勤務の社員においても、モバイルワークで支障のない業務については同制度を活用できる。また、同社は2007年以降、オフィス改革を通じて順次フリーアドレス、固定電話の撤廃、ペーパーレス化の推進を行っていたことが、物理的な面でモバイルワーク中心の働き方への移行に寄与している。

## 【効果と課題】

緊急事態宣言下で約3か月間のモバイルワークの徹底を行ってきたが、新しいコミュニケーションスタイルが浸透し、ITツールによる業務効率化も効果として表れている。他方、新入社員や異動したばかりの社員等、対面でのコミュニケーションをとることが望ましい社員への対応方法の検討を課題としている。引き続き、更なる生産性向上に向け、全社員が「圧倒的当事者意識」をもって新しい働き方を推進していく。